

事前評価調書

I 事業概要																																																																																																															
事業名	交通安全対策事業（視距改良事業）																																																																																																														
地区名	一般県道 <small>おおぬまあすけ</small> 大沼足助線																																																																																																														
事業箇所	豊田市 <small>とちゅうちやう</small> 戸中町																																																																																																														
事業のあらまし	一般県道大沼足助線は、三河山間地域の足助地区と下山地区の中心地を南北に結ぶ幹線道路である。当該箇所は急峻な山間地と並行して流れる巴川に挟まれた狭隘な道路であり見通しの悪いカーブが連続しているため、近隣住民から児童、住民の安全確保及び一般交通の危険回避を強く望まれている。こうした背景から、本事業は視距改良を実施することにより、交通事故の削減を図るものである。																																																																																																														
事業目標	【達成（主要）目標】 ①交通事故の削減 【副次目標】 —																																																																																																														
事業費	事業費			内訳																																																																																																											
	0.7億円			■工事費0.5億円、■用補費0.1億円、■その他0.1億円																																																																																																											
事業期間	採択予定年度	2021年度	着工予定年度	2021年度	完成予定年度	2025年度																																																																																																									
事業内容	視距改良 L=356m																																																																																																														
II 評価																																																																																																															
①事業の必要性	1) 必要性	カーブ区間が多く、安全上必要な視距が確保されていないことから視距改良事業実施の必要がある。																																																																																																													
	判定	A	A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。 【理由】 カーナビゲーション等の案内による通過交通が増加しており、通行車両の安全を確保するために視距改良が必要である。																																																																																																												
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・土工</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>・擁壁工</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・舗装工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="5">0.7</td> <td colspan="5">0.0</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table>													2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	合計	工種 区分	調査・設計	←	→									0.1	用地補償		←	→								0.1	工事			←	→								・土工			←	→							0.5	・擁壁工			←	→								・舗装工					←	→						事業費（億円）		0.7					0.0					0.7
			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	合計																																																																																																		
	工種 区分	調査・設計	←	→									0.1																																																																																																		
		用地補償		←	→								0.1																																																																																																		
		工事			←	→																																																																																																									
		・土工			←	→							0.5																																																																																																		
・擁壁工				←	→																																																																																																										
・舗装工						←	→																																																																																																								
事業費（億円）		0.7					0.0					0.7																																																																																																			
2) 地元の合意形成	地元足助の県道をよくする会より要望書が提出されるなど、地元からの整備要望の声が多く、合意形成が図られる環境にある。																																																																																																														
判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。																																																																																																													

		<p>【理由】 円滑な事業執行環境が整っており、事業の実効性は高いため。</p>
Ⅲ 対応方針		
事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。	
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p> <input checked="" type="checkbox"/>対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 【主な評価内容】 ・交通事故の発生状況の変化 </p>		

